

(参考)

ヒアリング項目

1 仕入れの現状……【小麦粉と他の原材料の価格改定の相違点】

(1) 小麦粉の仕入先との値決めの方法について教えてください。また、小麦粉以外の主な原材料の仕入先との値決めの方法はどのように行われているのでしょうか。

(2) 輸入麦の政府売渡価格の改定にあわせて、製粉企業は年2回の価格改定を行っていますが、小麦粉以外の原材料の価格改定頻度はどのようになっているのでしょうか。(どのようなタイミングで価格改定が行われるのでしょうか。)

(3) 小麦粉以外の原材料の最近の価格動向はどうなっているのでしょうか。

2 販売の現状……【小麦粉及び他の原材料の価格動向が商品価格等に及ぼす影響】

(1) 昨今の穀物、原油等の価格高騰を受け、商品の値上げは行いましたか。(いつ、どの程度の値上げを行いましたか。)

(2) 商品の販売価格の改定頻度はどのようになっているのでしょうか。また、それは、原材料価格の改定頻度とどのように関係しているのでしょうか。

(3) 商品の販売価格に占める小麦粉の仕入価格のシェアはどのくらいですか。

(4) 商品の値上げの要因として挙げられるものを教えてください。小麦粉以外に大きな要因となったものはあるのでしょうか。

(5) 商品を値上げした後の売上げと利益はどうになりましたか。

(6) 価格改定のコストとしてどのようなものがありますか。

(7) 販売価格の改定交渉はどのように行われているのでしょうか。

3 使用している小麦の銘柄について……【高くても買うなど、銘柄に対するこだわり】

(1) 貴社（貴業界）で購入している小麦粉で主に使用している小麦の銘柄は何でしょうか。

(2) 価格が高騰しても必ず使うという銘柄はありますか。その理由は何ですか。

(3) 価格が高騰したら他の銘柄や国産麦に代替しますか。（どの銘柄をどの銘柄に代替できるのでしょうか。）

4 輸入麦の政府売渡ルールについて

(1) 19年4月からの現行制度(年2回、8か月平均をベースとした改定による相場連動性)への移行による影響はありますか。現行制度をどのように評価していますか。

(2) 輸入麦の政府売渡価格は、現行に比べて国際相場の上げ下げをどの程度迅速に反映するのが適当と考えますか。

(3) 上記(2)で回答した方向を実現するためには、売渡ルールをどのように変えればよいと考えていますか。

① 改定回数

② 価格改定の基礎となる期間

③ SBS方式の対象銘柄

④ その他

5 その他の意見